



「電解水を利用した 淡水魚の人工飼育」



コンテンツ

1. 導入
2. 結果と改善点
3. 魚類の絶滅の原因と地理的条件
4. 専門スタッフの不足
5. 魚の繁殖の方法論と価値
6. 結論
7. 協力と支援



1. はじめに

チュルウト川



チュルウト・トゥルプロジェクト

私たちは、世界では「絶滅危惧種」に分類され、モンゴルでも「絶滅危惧種」に分類されているイトウトゥル魚を保護し、繁殖させるプロジェクトを紹介します。

日本語：「石川イトウ」プロジェクト



2. 活動と改善点



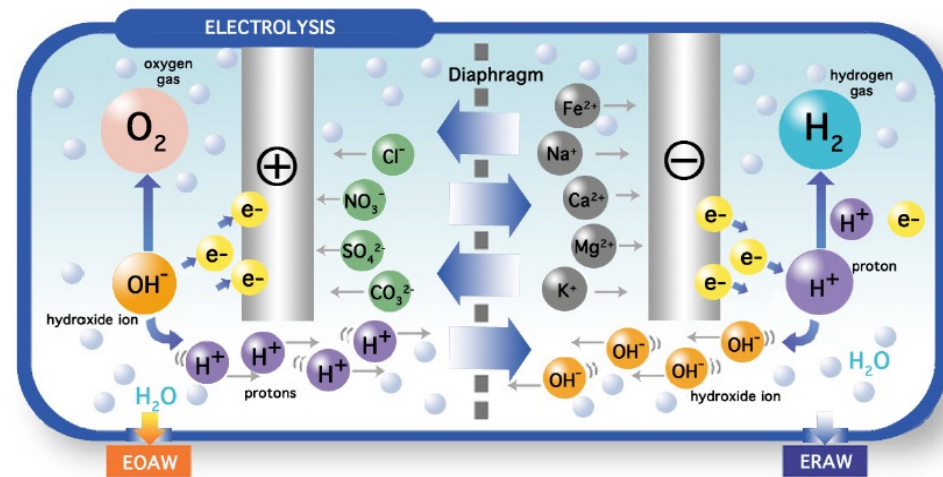
2019年から2024年にかけて、
チュルーツ川では合計2,730,000
万羽のヒナが飼育された。



2. 結果と改善点



私たちのパートナーである「タナ研究所」は、革新的な水質研究を行った電解水を使用することで、飼育魚の死亡率を50%削減します。



グレイリング
(*Thymallus arcticus*)、レノックトラウト
(*Brachymystax lenok*) 平均して、
魚は2000~4000個の卵を産みます



3. 問題点・魚類の絶滅



川には研究が不足しており、観光とスポーツフィッシングや密猟の危険にさらされています。



3. 魚類絶滅の原因と地理的条件



チュルウト川は長さ 413 km で、アルハンガイ県にあります。ロシアのバイカル湖の主要支流であるセレンゲ川の源流と考えられています。

モンゴルには64千万頭の家畜があり、そのうち485万頭がアルハンガイ県にいます。

家畜増加による川沿いの異変、温暖化による雨量の増加・洪水汚染の影響が大きいと考えられる



バイカル湖

セレンゲ川

チュルウト川



アルハンガイ県



ウランバートル



670km

チュルウト川

4. 専門人材の不足



モンゴル生命大学では魚類
科学分野で4年間で育成した
人材：2名だけ



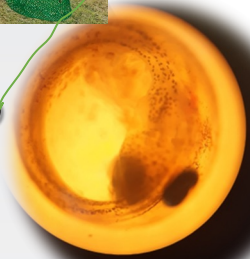
「チュルウト トウル」
プロジェクト現地ラボ



5. 魚の繁殖の方法論的価値



繁殖魚を捕まえる



養魚の過程



川に放置する





私たちの自然保護プロジェクトの長期的な性質により、将来の世界の人々には計り知れない資産が残されることとなります。

皆様との共同活動や提案

1. 目標は、世界をリードする日本の科学とイノベーションの経験から知識・電気分解水による養魚
2. 私たちの活動は寄付によって賄われています。継続的なクラウドファンด์を立ち上げ、環境にやさしい観光ビジネスのパートナーが必要。





保全第一

ありがとう

